

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

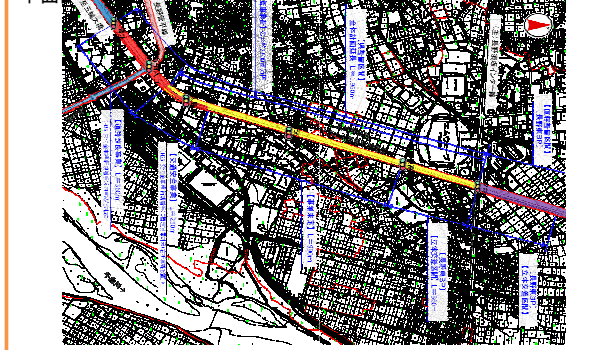
事業名		道路改築事業		路河川名等	(一)三才大豆島中御所線				
事業毎の通番		12	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	東外環状線(ひがしとかんじょうせん)			
事業概要	事業目的	当路線は、長野市の外郭をなす東環状道路の一部を構成する道路である。現在、国土交通省により、長野市街地の通過交通の排除による交通混雑の緩和による円滑な交通の確保、地域間の連携強化、市街地の活性化を目的とした「長野東バイパス」の整備が進められている。本箇所は、朝夕の通勤時間帯を中心に、現在でも主要渋滞ポイントに相当する渋滞が発生しており、「長野東バイパス」の開通後は、更なる渋滞の発生が想定される。そのため、県管理区間について四車線化を図るものである。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	長野県広域道路整備基本計画 長野市都市計画区域マスタープラン							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	現況交通量：18,849台/日							
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.3		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=1,600m, W=14.0(30.0)m			2,900,000	1,740,000		1,044,000	116,000
	年度事業内容(主な工種)								
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 30.14億円 緊急輸送路(2次)の整備						
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進 観光振興						
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：あるが安全性低い(主)長野須坂インター線・(国)403号・(主)長野菅平線(車道幅員5.0m)							評価
		○交通結節点アクセス：須坂長野ICへの1次アクセス道路							A
		○観光地アクセス：観光地に通じる道路(エムウェーブ)							
	重要性	○地域の活性化：レジャー施設(エムウェーブ)へのアクセス道路							評価
		○関連計画、重点施策との整合：長野県広域道路整備基本計画、長野市都市計画区域マスタープラン、(国)18号長野東バイパス							
		○緊急輸送路の路線指定：緊急輸送路(2次)							
効率性	○地域指定：信越観光圏、豪雪地域、積雪地域に指定							A	
	○費用対効果(B/C)：1.25								
	○事業期間：5年(H27~H31)								
緊急性	○代替案の検討：道路予備設計実施済							評価	
	○他事業との連携：長野東バイパス								
	○近年の交通事故件数：39件/14年(1996年~2009年)								
計画熟度	○渋滞又は騒音・振動対策：新イライラ箇所(落合橋入口)の解消							B	
	○歩道整備：歩道はあるが不十分なものを再整備(歩道幅員2.25m→4.00m)								
	○道路構造：現況車道幅員6.5m								
部意見	○事業情報の共有：東外環状線大豆島地区四車線化早期建設期成同盟会に計画概要説明済							評価結果	
	○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(東外環状線大豆島地区四車線化早期建設期成同盟会)								
	○地域の合意形成：整備手法について、合意形成が図られている								
事業の必要性、重要性、効率性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。		行政改革課意見		必要性、重要性が認められる。			総合評価	B	

【位置図、平面図、構造図等】

位置図



平面図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、長野市の外郭をなす東環状道路の一部を構成する道路である。現在、国土交通省により、長野市街地の通過交通の排除による交通混雑の緩和による円滑な交通の確保、地域間の連携強化、市街地の活性化を目的とした「長野東バイパス」の整備が進められている。本箇所は、朝夕の通勤時間帯を中心に、現在でも主要渋滞ポイントに相当する渋滞が発生しており、「長野東バイパス」の開通後は、更なる渋滞の発生が想定される。そのため、都市計画決定に基づき四車線化の整備を行い、渋滞の緩和を図るものである。		
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	東外環状線大豆島地域四車線化早期建設期成同盟会から、渋滞対策実施の要望がある。		
③事業説明等の経緯	東外環状線大豆島地域四車線化早期建設期成同盟会に対し、計画概要を説明。		
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	国土交通省の「長野東バイパス」整備による交通量の増加に伴う更なる渋滞の悪化を緩和するための事業である。		
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	四車線化の整備を図ることにより、渋滞の緩和を図り、環境への影響を低減させる。		
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、安全な通行が確保されることにより、観光地の活性化も期待される。		
⑦その他	なし	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 37' 39" 東経:E 138° 14' 09"